

だいこんの安定出荷に向けて

～夏季の高温条件下における品種比較試験～

1 課題の背景とねらい

JA 市原市姉崎蔬菜組合では、8 月下旬から 3 月中旬にかけてだいこんを作付しています。しかし、近年の猛暑の影響で、8 月から 9 月にかけての高温乾燥による出芽不良や病害虫の発生による品質の低下が問題となっています。

そこで、夏季の高温に強い有望品種を選定するため、慣行品種を加えて計 5 品種の比較試験を実施しました。

2 普及活動の経過・結果

(1) 品種比較試験の生育及び収穫調査

試験ほは、8 月 20 日に、畝間 56 cm × 株間 23 cm、2 粒は種で設置しました。9 月 2 日には種後の出芽率調査、9 月 24 日と 10 月 8 日に生育調査、10 月 23 日と 10 月 29 日に収穫調査を実施しました。出芽率調査の結果では、品種毎に 71% から高いもので 90% と、同じ条件下においても品種毎で違いが見られました。また、収穫調査の結果では、品種毎に根長や等級割合に違いが見られ、根長が長い品種ほど曲がりの発生が多い傾向にありました。(表 1 及び 2)。

表 1 収穫調査 (10 月 23 日)

No	葉長 (cm)	調製重 (g/株)	根長 (cm)	根径 (cm)	調製重 変動係数	規格別等級割合(%)				順位
						S	L	2L	3L	
1	49	1,132	34	6.6	14.4	40	47	13	0	1
2	44	1,145	34	6.8	11.8	27	53	13	7	2
3	49	1,258	43	6.6	8.6	0	73	27	0	5
4	45	1,594	38	7.3	24.1	20	20	40	20	3
5	44	1,137	36	6.1	24.8	47	27	20	7	4

表 2 収穫調査 (10 月 29 日)

No	葉長 (cm)	調製重 (g/株)	根長 (cm)	根径 (cm)	調製重 変動係数	規格別等級割合(%)				順位
						S	L	2L	3L	
1	49	1,126	34	7.0	15.9	40	40	20	0	1
2	44	1,358	38	7.4	14.4	20	27	53	0	3
3	50	1,366	44	7.2	13.1	0	53	47	0	4
4	50	1,453	38	7.6	18.9	13	33	47	7	1
5	48	1,145	35	6.8	11.7	20	67	13	0	4

注) 順位は生産者及び関係機関から聞き取り決定した。形の揃いや、肌の質感等の良さから判断を行ってもらった。

（２）生産者及び関係機関からの意見聞き取り

収穫調査の際、だいこんを品種ごとに並べ、計５品種の中から３位までの順位付けを行い、各品種に対する意見を聞き取りました。その結果、根長が35cm程度で出荷調製しやすいこと、形状の揃いが良かったことなどから、慣行品種が最も高い順位となりました。慣行品種以外に対する意見として、根部の長さや太さ、形状が良かったと前向きな意見があった一方、根部が長くて曲がりが多い、根部が細いといった改善を求める意見がありました。



写真１ 試験ほ場



写真２ 収穫調査の様子

３ 今後の課題

高温障害や連作障害、高齢化等による担い手減少への対策などが課題となっています。そのため、昇温抑制型マルチや緑肥等の実証ほ設置、省力化機械の導入推進や共同洗浄選別施設の改修によって業務効率化を図り、安定した農業経営を維持することで、産地の維持と発展を支援していきます。

４ 担当者

市原グループ

５ 協力機関 市原市、JA 市原市